



平成 28 年 12 月 14 日

各 位

会 社 名 日鍛バルブ株式会社
代表者名 代表取締役社長 金 原 利 道
(コード番号 6493 東証第 二 部)
問合せ先 常務取締役 李 太 煥
(TEL. 0 4 6 3 - 8 2 - 1 3 1 1)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」

の一部訂正について

当社は、平成24年1月31日に開示いたしました「平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正箇所

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 28 年 12 月 14 日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正内容と理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
コード番号 6493 URL <http://www.niv.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 久雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 金原 利道

TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	24,560	△1.0	616	△68.2	620	△66.2	△164	—
23年3月期第3四半期	24,806	26.0	1,941	—	1,838	941.9	731	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △814百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 1,007百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	<u>△5.69</u>	—
23年3月期第3四半期	<u>25.30</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	<u>38,269</u>	<u>26,126</u>	<u>58.3</u>
23年3月期	<u>38,932</u>	<u>27,403</u>	<u>60.8</u>

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 22,324百万円 23年3月期 23,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	4.9	1,550	△30.0	1,700	△22.8	200	△65.1	6.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	28,978,860 株	23年3月期	28,978,860 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	90,697 株	23年3月期	90,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	28,888,219 株	23年3月期3Q	28,888,434 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) 追加情報	P. 9
(5) セグメント情報等	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
4. 参考情報	P. 11
(1) 所在地別セグメント	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にありましたが、サプライチェーン立て直しの進展により生産は持ち直してまいりました。しかし、先行きについては、電力供給の制約や円高・デフレの影響、さらに欧州における財政不安の影響など不透明な要素は多く、景気回復の鈍化が懸念されます。一方、世界経済は、中国・インドでは内需を中心とした景気拡大が進む一方で、タイにおける洪水の影響、及び欧州地域における財政不安の高まりが世界経済に与える影響が懸念されます。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内では震災の影響により大幅な減産を余儀なくされましたが、サプライチェーンの正常化にともない、生産はひと通りの回復を見せております。海外では、おもにアジア地域の二輪車用エンジンバルブを中心とした内需拡大などを背景に、堅調な伸びを見せております。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針の達成に鋭意取り組むとともに、生産体制の合理化、海外事業展開の推進、新技術・新商品の開発など、諸施策を積極的に展開してまいりました。また、震災に起因する生産への影響を最小限にとどめるための施策を迅速かつ的確に講じてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績としましては、売上高につきましては、アジア地域を中心に海外事業は好調であったものの、震災影響による国内および北米の減産や為替の影響により、前年同期に比べ減収となる、245億60百万円（前年同期比1.0%減）となりました。損益面につきましては、震災影響により、営業利益6億16百万円（前年同期比68.2%減）、経常利益6億20百万円（前年同期比66.2%減）、四半期純損失1億64百万円（前年同期は四半期純利益7億31百万円）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

<小型エンジンバルブ>

乗用車用エンジンバルブにつきましては、国内においては、四輪車用エンジンバルブは震災影響からの急回復を見せているものの第2四半期までの遅れを挽回するに至らず減収となりました。二輪車用エンジンバルブは震災影響からの回復や海外向け製品の好調により増収となりました。海外においては、アジア地域では、為替の影響はあったものの、二輪車用エンジンバルブが大幅な増収となるなど、同地域における内需拡大を背景に概ね堅調な推移となりました。しかし北米地域では、震災の影響および為替の影響により大幅な減収となりました。

汎用エンジンバルブにつきましては、海外需要が堅調に推移したために増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、160億26百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、2億90百万円（前年同期比80.4%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<船用部品>

船用関連製品につきましては、震災による自家発電用エンジン部品等の需要の高まりや海外向け補給部品・大型機種受注の好転などにより、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、23億1百万円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、2億7百万円（前年同期比104.3%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<可変動弁・歯車>

可変動弁につきましては、モデルチェンジ効果や北米向け製品の好調などにより増加傾向にあったものの、震災後の国内需要の回復が想定より遅れたことにより減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、国内需要や一部の北米向け産業機械用製品は低調であったものの、中国などアジア地域を中心とする海外向け自動車用製品が好調に推移し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、45億47百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、53百万円（前年同期比65.2%減）となりました。

<その他>

バルブリフターにつきましては、海外向け製品の需要が回復傾向にありましたが、震災影響や搭載機種モデル変更などにより大幅な減収となりました。

また、工作機械につきましては、震災影響による部品不足が工期を延ばす結果となり、減収となりました。

ロイヤルティにつきましては、前連結会計年度まで営業外収益に計上しておりましたが、海外取引の重要性の増大にともない当連結会計年度より売上高に計上しており、第1四半期連結会計期間より、表示方法の変更を行い組替表示後の数値で比較・分析を行っております。

この結果、当セグメントの売上高は、24億19百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億14百万円（前年同期比55.4%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、382億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億62百万円の減少となりました。

資産の部の流動資産は、167億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億72百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が10億70百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、215億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億34百万円の減少となりました。この主な要因は投資有価証券が11億8百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、84億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億67百万円の増加となりました。この主な要因は短期借入金が6億78百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、36億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億53百万円の減少となりました。この主な要因は繰延税金負債が6億39百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部では、261億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億76百万円の減少となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が6億23百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想は、平成23年10月28日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」より変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○法人税等の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,662,897	3,608,414
受取手形及び売掛金	5,445,858	6,516,531
商品及び製品	1,569,752	1,774,230
仕掛品	1,497,269	1,310,997
原材料及び貯蔵品	1,761,800	1,778,334
繰延税金資産	327,939	598,364
その他	1,911,641	1,171,326
貸倒引当金	△2,492	△2,258
流動資産合計	16,174,667	16,746,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,474,779	5,220,842
機械装置及び運搬具(純額)	5,140,620	6,085,916
土地	1,406,153	1,393,902
建設仮勘定	1,590,168	1,115,546
その他(純額)	303,918	272,656
有形固定資産合計	13,915,639	14,088,865
無形固定資産		
のれん	978,322	686,152
その他	249,243	298,354
無形固定資産合計	1,227,566	984,506
投資その他の資産		
投資有価証券	7,124,091	6,015,459
出資金	940	940
長期貸付金	115,386	69,578
繰延税金資産	179,305	186,547
その他	194,642	177,002
投資その他の資産合計	7,614,366	6,449,527
固定資産合計	22,757,572	21,522,899
資産合計	38,932,239	38,269,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,870,088	4,400,738
短期借入金	657,040	1,335,720
未払法人税等	149,825	122,017
繰延税金負債	382,155	397,555
賞与引当金	348,324	95,788
役員賞与引当金	38,300	-
その他	2,136,028	2,097,891
流動負債合計	7,581,762	8,449,710
固定負債		
長期未払金	21,100	295,176
長期借入金	195,000	761,500
繰延税金負債	736,026	96,231
退職給付引当金	2,909,235	2,464,051
その他	85,539	76,516
固定負債合計	3,946,901	3,693,475
負債合計	11,528,664	12,143,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,955	4,506,955
利益剰余金	13,782,374	13,329,195
自己株式	△45,256	△45,296
株主資本合計	22,774,616	22,321,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,563,890	1,940,335
為替換算調整勘定	△1,661,451	△1,937,289
その他の包括利益累計額合計	902,438	3,046
少数株主持分	3,726,520	3,802,211
純資産合計	27,403,575	26,126,654
負債純資産合計	38,932,239	38,269,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	24,806,363	24,560,430
売上原価	20,660,852	21,664,087
売上総利益	4,145,511	2,896,343
販売費及び一般管理費	2,203,715	2,279,814
営業利益	1,941,795	616,529
営業外収益		
受取利息	15,329	16,384
受取配当金	140,768	91,503
持分法による投資利益	51,494	8,634
雑収入	46,066	40,534
営業外収益合計	253,659	157,056
営業外費用		
支払利息	27,860	13,772
為替差損	311,553	127,943
雑損失	17,202	10,871
営業外費用合計	356,617	152,587
経常利益	1,838,837	620,998
特別利益		
固定資産売却益	291,732	1,723
その他	1,600	-
特別利益合計	293,332	1,723
特別損失		
固定資産売却損	-	3,228
固定資産除却損	31,473	70,754
本社工場再整備費	31,851	-
ゴルフ会員権評価損	150	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43,979	-
特別損失合計	107,454	73,982
税金等調整前四半期純利益	2,024,715	548,739
法人税等	534,020	218,342
少数株主損益調整前四半期純利益	1,490,694	330,397
少数株主利益	759,686	494,694
四半期純利益又は四半期純損失(△)	731,008	△164,297

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,490,694	330,397
その他の包括利益		
_{其他有価証券評価差額金}	△162,059	△623,609
_{為替換算調整勘定}	△273,877	△454,429
_{持分法適用会社に対する持分相当額}	△46,955	△67,105
_{その他の包括利益合計}	△482,891	△1,145,144
四半期包括利益	1,007,802	△814,747
(内訳)		
_{親会社株主に係る四半期包括利益}	498,363	△1,063,689
_{少数株主に係る四半期包括利益}	509,439	248,941

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	16,467,860	2,010,270	4,577,969	23,056,101	1,750,262	24,806,363	—	24,806,363
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,239	631	—	2,870	838,326	841,197	△841,197	—
計	16,470,100	2,010,901	4,577,969	23,058,972	2,588,588	25,647,561	△841,197	24,806,363
セグメント利益	<u>1,482,464</u>	101,725	154,586	<u>1,738,775</u>	257,328	<u>1,996,104</u>	△54,308	<u>1,941,795</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△54,308千円は、セグメント間取引消去38,632千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△92,940千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. ロイヤルティーの表示方法につき、前期まで営業外収益に計上していましたが、第1四半期より売上に計上しております。これに伴い「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)を適用し、組替表示しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	16,010,012	2,300,730	4,547,249	22,857,992	1,702,438	24,560,430	—	24,560,430
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,935	523	—	17,459	717,304	734,764	△734,764	—
計	16,026,948	2,301,254	4,547,249	22,875,452	2,419,742	25,295,194	△734,764	24,560,430
セグメント利益	<u>290,814</u>	<u>207,789</u>	<u>53,851</u>	<u>552,454</u>	114,744	<u>667,199</u>	△50,669	<u>616,529</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△50,669千円は、セグメント間取引消去85,920千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△136,590千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 所在地別セグメント

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,273,066	5,472,142	2,583,862	231,360	24,560,430	—	24,560,430
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	728,500	177,228	87	—	905,816	△905,816	—
計	17,001,566	5,649,371	2,583,949	231,360	25,466,247	△905,816	24,560,430
営業利益又は 営業損失(△)	<u>△606,203</u>	1,394,386	23,466	△155,803	<u>655,846</u>	△39,317	<u>616,529</u>

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア…台湾、インドネシア、タイ、中国
 北米…アメリカ
 欧州…ポーランド

(訂正前)



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
コード番号 6493 URL <http://www.niv.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 久雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 金原 利道

TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	24,560	△1.0	662	△65.7	666	△63.5	△123	—
23年3月期第3四半期	24,806	26.0	1,929	—	1,826	934.9	721	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △773百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 998百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△4.26	—
23年3月期第3四半期	24.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	38,358	26,193	58.4
23年3月期	38,980	27,428	60.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 22,390百万円 23年3月期 23,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	4.9	1,550	△29.7	1,700	△22.4	200	△64.6	6.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	28,978,860 株	23年3月期	28,978,860 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	90,697 株	23年3月期	90,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	28,888,219 株	23年3月期3Q	28,888,434 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) 追加情報	P. 9
(5) セグメント情報等	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
4. 参考情報	P. 11
(1) 所在地別セグメント	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にありましたが、サプライチェーン立て直しの進展により生産は持ち直してまいりました。しかし、先行きについては、電力供給の制約や円高・デフレの影響、さらに欧州における財政不安の影響など不透明な要素は多く、景気回復の鈍化が懸念されます。一方、世界経済は、中国・インドでは内需を中心とした景気拡大が進む一方で、タイにおける洪水の影響、及び欧州地域における財政不安の高まりが世界経済に与える影響が懸念されます。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内では震災の影響により大幅な減産を余儀なくされましたが、サプライチェーンの正常化にともない、生産はひと通りの回復を見せております。海外では、おもにアジア地域の二輪車用エンジンバルブを中心とした内需拡大などを背景に、堅調な伸びを見せております。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針の達成に鋭意取り組むとともに、生産体制の合理化、海外事業展開の推進、新技術・新商品の開発など、諸施策を積極的に展開してまいりました。また、震災に起因する生産への影響を最小限にとどめるための施策を迅速かつ的確に講じてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績としましては、売上高につきましては、アジア地域を中心に海外事業は好調であったものの、震災影響による国内および北米の減産や為替の影響により、前年同期に比べ減収となる、245億60百万円（前年同期比1.0%減）となりました。損益面につきましては、震災影響により、営業利益 6億62百万円（前年同期比65.7%減）、経常利益 6億66百万円（前年同期比63.5%減）、四半期純損失 1億23百万円（前年同期は四半期純利益 7億21百万円）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

<小型エンジンバルブ>

乗用車用エンジンバルブにつきましては、国内においては、四輪車用エンジンバルブは震災影響からの急回復を見せているものの第2四半期までの遅れを挽回するに至らず減収となりました。二輪車用エンジンバルブは震災影響からの回復や海外向け製品の好調により増収となりました。海外においては、アジア地域では、為替の影響はあったものの、二輪車用エンジンバルブが大幅な増収となるなど、同地域における内需拡大を背景に概ね堅調な推移となりました。しかし北米地域では、震災の影響および為替の影響により大幅な減収となりました。

汎用エンジンバルブにつきましては、海外需要が堅調に推移したために増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、160億26百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、3億35百万円（前年同期比77.1%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<船用部品>

船用関連製品につきましては、震災による自家発電用エンジン部品等の需要の高まりや海外向け補給部品・大型機種受注の好転などにより、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、23億1百万円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、2億8百万円（前年同期比104.6%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<可変動弁・歯車>

可変動弁につきましては、モデルチェンジ効果や北米向け製品の好調などにより増加傾向にあったものの、震災後の国内需要の回復が想定より遅れたことにより減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、国内需要や一部の北米向け産業機械用製品は低調であったものの、中国などアジア地域を中心とする海外向け自動車用製品が好調に推移し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、45億47百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、53百万円（前年同期比65.1%減）となりました。

<その他>

バルブリフターにつきましては、海外向け製品の需要が回復傾向にありましたが、震災影響や搭載機種モデル変更などにより大幅な減収となりました。

また、工作機械につきましては、震災影響による部品不足が工期を延ばす結果となり、減収となりました。

ロイヤルティにつきましては、前連結会計年度まで営業外収益に計上しておりましたが、海外取引の重要性の増大にともない当連結会計年度より売上高に計上しており、第1四半期連結会計期間より、表示方法の変更を行い組替表示後の数値で比較・分析を行っております。

この結果、当セグメントの売上高は、24億19百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億14百万円（前年同期比55.4%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、383億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億21百万円の減少となりました。

資産の部の流動資産は、168億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億13百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が10億70百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、215億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億34百万円の減少となりました。この主な要因は投資有価証券が11億8百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、84億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億67百万円の増加となりました。この主な要因は短期借入金が6億78百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、36億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億53百万円の減少となりました。この主な要因は繰延税金負債が6億39百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部では、261億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億35百万円の減少となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が6億23百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想は、平成23年10月28日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」より変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○法人税等の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,662,897	3,608,414
受取手形及び売掛金	5,445,858	6,516,531
商品及び製品	1,577,491	1,884,714
仕掛品	1,500,725	1,244,340
原材料及び貯蔵品	1,789,371	1,814,402
繰延税金資産	337,167	598,591
その他	1,911,641	1,171,326
貸倒引当金	△2,492	△2,258
流動資産合計	16,222,659	16,836,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,474,779	5,220,842
機械装置及び運搬具(純額)	5,140,620	6,085,916
土地	1,406,153	1,393,902
建設仮勘定	1,590,168	1,115,546
その他(純額)	303,918	272,656
有形固定資産合計	13,915,639	14,088,865
無形固定資産		
のれん	978,322	686,152
その他	249,243	298,354
無形固定資産合計	1,227,566	984,506
投資その他の資産		
投資有価証券	7,124,091	6,015,459
出資金	940	940
長期貸付金	115,386	69,578
繰延税金資産	179,305	186,547
その他	194,642	177,002
投資その他の資産合計	7,614,366	6,449,527
固定資産合計	22,757,572	21,522,899
資産合計	38,980,231	38,358,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,870,088	4,400,738
短期借入金	657,040	1,335,720
未払法人税等	149,825	122,017
繰延税金負債	382,155	397,555
賞与引当金	348,324	95,788
役員賞与引当金	38,300	-
その他	<u>2,158,705</u>	<u>2,120,568</u>
流動負債合計	<u>7,604,439</u>	<u>8,472,387</u>
固定負債		
長期未払金	21,100	295,176
長期借入金	195,000	761,500
繰延税金負債	736,026	96,231
退職給付引当金	2,909,235	2,464,051
その他	85,539	76,516
固定負債合計	<u>3,946,901</u>	<u>3,693,475</u>
負債合計	<u>11,551,341</u>	<u>12,165,862</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,955	4,506,955
利益剰余金	<u>13,807,689</u>	<u>13,395,640</u>
自己株式	△45,256	△45,296
株主資本合計	<u>22,799,931</u>	<u>22,387,842</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,563,890	1,940,335
為替換算調整勘定	△1,661,451	△1,937,289
その他の包括利益累計額合計	<u>902,438</u>	<u>3,046</u>
少数株主持分	3,726,520	3,802,211
純資産合計	<u>27,428,890</u>	<u>26,193,099</u>
負債純資産合計	<u>38,980,231</u>	<u>38,358,962</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	24,806,363	24,560,430
売上原価	20,673,150	21,618,448
売上総利益	4,133,213	2,941,982
販売費及び一般管理費	2,203,715	2,279,814
営業利益	1,929,497	662,167
営業外収益		
受取利息	15,329	16,384
受取配当金	140,768	91,503
持分法による投資利益	51,494	8,634
雑収入	46,066	40,534
営業外収益合計	253,659	157,056
営業外費用		
支払利息	27,860	13,772
為替差損	311,553	127,943
雑損失	17,202	10,871
営業外費用合計	356,617	152,587
経常利益	1,826,539	666,637
特別利益		
固定資産売却益	291,732	1,723
その他	1,600	-
特別利益合計	293,332	1,723
特別損失		
固定資産売却損	-	4,725
固定資産除却損	31,473	73,765
本社工場再整備費	31,851	-
ゴルフ会員権評価損	150	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43,979	-
特別損失合計	107,454	78,490
税金等調整前四半期純利益	2,012,417	589,870
法人税等	530,759	218,342
少数株主損益調整前四半期純利益	1,481,658	371,527
少数株主利益	759,686	494,694
四半期純利益又は四半期純損失(△)	721,971	△123,166

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,481,658	371,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162,059	△623,609
為替換算調整勘定	△273,877	△454,429
持分法適用会社に対する持分相当額	△46,955	△67,105
その他の包括利益合計	△482,891	△1,145,144
四半期包括利益	998,766	△773,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	489,326	△1,022,559
少数株主に係る四半期包括利益	509,439	248,941

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	16,467,860	2,010,270	4,577,969	23,056,101	1,750,262	24,806,363	—	24,806,363
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,239	631	—	2,870	838,326	841,197	△841,197	—
計	16,470,100	2,010,901	4,577,969	23,058,972	2,588,588	25,647,561	△841,197	24,806,363
セグメント利益	<u>1,470,166</u>	101,725	154,586	<u>1,726,477</u>	257,328	<u>1,983,806</u>	△54,308	<u>1,929,497</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△54,308千円は、セグメント間取引消去38,632千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△92,940千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. ロイヤルティーの表示方法につき、前期まで営業外収益に計上していましたが、第1四半期より売上に計上しております。これに伴い「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)を適用し、組替表示しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	16,010,012	2,300,730	4,547,249	22,857,992	1,702,438	24,560,430	—	24,560,430
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,935	523	—	17,459	717,304	734,764	△734,764	—
計	16,026,948	2,301,254	4,547,249	22,875,452	2,419,742	25,295,194	△734,764	24,560,430
セグメント利益	<u>335,951</u>	<u>208,174</u>	<u>53,967</u>	<u>598,093</u>	114,744	<u>712,837</u>	△50,669	<u>662,167</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△50,669千円は、セグメント間取引消去85,920千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△136,590千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 所在地別セグメント

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,273,066	5,472,142	2,583,862	231,360	24,560,430	—	24,560,430
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	728,500	177,228	87	—	905,816	△905,816	—
計	17,001,566	5,649,371	2,583,949	231,360	25,466,247	△905,816	24,560,430
営業利益又は 営業損失(△)	<u>△560,565</u>	1,394,386	23,466	△155,803	<u>701,485</u>	△39,317	<u>662,167</u>

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア…台湾、インドネシア、タイ、中国
 北米…アメリカ
 欧州…ポーランド